

大輪の花



ホームページ版

五條市立
西吉野中学校閉校記念

校歌

森脇しず子 作詞
竹田眞和 作曲

1

山の緑も 鮮やかに
映える学び舎 悠然と
昇る朝日に そびえ建つ

若き命の 燃ゆる園

伸びよ学べよ 健やかに

我らが母校 西吉野中学校

2

実り豊かな 故郷に

希望に燃ゆる 若人が

明るい未来 築くため

花を咲かそう 大輪の

窓の緑が 夢を呼ぶ

我らが母校 西吉野中学校



西吉野中学校校歌

森脇しず子 作詞
竹田眞和 作曲

Allegro Moderato *mf*

や ま の り み ど り も あ さ り や か
の り ゆ た か な あ ふ さ と
に は き え ぼ ー り ま な も び や ゆ う ー ぜ ん
に は き え ぼ ー り ま な も び ゅ ら わ う こ ー う ど
と が の ぼ る あ さ ひ に そ き び ー え た
が あ か る い み ら ー い そ き び ー く た
つ め わ は な き い さ の ち の も ゆ り そ ん
の の び よ ま な べ り よ す こ め ー や か
の の ま ど の み ど り が す ゆ こ め ー を 上
に ぶ わ れ ら ー が ぼ こ う に し よ し の ち ゆ う が つ
わ れ ら ー が ぼ こ う に し よ し の ち ゆ う が つ
1. 2.
こ う み こ う



★校章の意味

未来と夢に向かって、広い空へ、強く・大きく羽ばたく羽のイメージと、西吉野村の村章があわせてデザインされています。



閉校に寄せて

五條市長 太田 好紀

平成16年の創立以来、16年間にわたり346名の生徒の成長を見届けてきた五條市立西吉野中学校は、令和2年3月31日をもって閉校し、その重要な任務を終えることになりました。

「山の緑もあざやかに」「実り豊かな故郷に」と校歌にも謳われるように、西吉野中学校は、豊かな果樹がたわわに実る美しい山河に囲まれた学び舎です。また、幼稚園・小学校・中学校が連携しながら、地域ぐるみで築き上げたぬくもりある学校です。「豊かな心をはぐくみ、自ら学び、やり抜く生徒の育成」という教育目標のもと、五條市や日本の未来を担う若者たちを送り出してきた西吉野中学校は、思春期という大切な時期である中学時代を、物心ともにのどかで心の通った環境で支える、すばらしい学校であったと思います。

生徒たちにとってはかけがえない母校、そして多くの皆様に愛されてきた学校の歴史が閉じてしまうことは、関係各位におかれては言葉では言い表せないほどの寂しさを感じておられることと心中深く拝察いたします。

しかしながら、社会構造の変化や少子高齢化による児童生徒数の減少により、学校の小規模化が一段と進み、より良好な教育の提供に様々な課題が生じてきました。このような状況の中、子どもたちにより良い教育環境を提供するため、この度の結論に至りました。関係者の皆様にとっても大変厳しい選択であったと存じます。西吉野・大塔地区の子どもたちの未来を思っただけのご決断に心から敬意を表します。

学び舎は閉じても、そこで育まれた西吉野中学校魂と「生きる力」は、糧となり支えとなつて、生涯活かされていくことと信じます。

結びに、これまで西吉野中学校に多大なご支援とご協力を賜りました地域の皆様をはじめ、本校にゆかりのある多くの皆様に深甚なる敬意と感謝を申し上げ、貴校に寄せる言葉といたします。

五條市教育委員会
教育長 堀内 伸起

五條市立西吉野中学校の閉校にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本校は、平成16年に西吉野中学校と白銀北中学校が統合し、現在の西吉野中学校となり、平成24年度には大塔中学校を併設、統合し、今日まで16年にわたる歴史を刻んでこられました。改めて、歴代の校長先生をはじめ、教職員並びに卒業生の皆様の弛みないご努力と、それを支えていただいた保護者や地域の皆様のご協力に、心から敬意と感謝を申し上げます。

本校の沿革を遡りますと、地域の名産である柿にちなみ、「カッキータイム」や「柿輝祭」の実施、郷土芸能を守り地域と一体となった活動など、少人数ながらきめ細かい教育実践が行われてきました。

なお、本校が閉校した後は、この素晴らしい校舎に、現賀名生分校を新たな市立高校として移し、地域農業の担い手を育てる教育の場として再スタートいたします。

しかし、近年、我が国では急速に少子化が進行し、開校時には87名を数えていた全校生徒が今では24名にまで減少し、学習活動などにも様々な支障が生じるようになりました。そのため、本市では平成25年度から学校の規模や配置、教育内容に係る適正化について検討を始め、学校を統合してでも教育体制の充実を図ることとしました。その結果、本校は五條中学校、野原中学校と統合し、「新生五條中学校」として新たな一歩を歩むこととなりました。

本校の校歌に「実り豊かな故郷に希望に燃ゆる若人が明るい未来築くため花を咲かそう大輪の・・・」という一節があります。卒業生の皆様、地域の皆様におかれましては、思い出深い母校が閉校するということが、胸中いかばかりかとお察し申し上げます。教育行政を預かる者として、将来を担う子どもたちに、より一層充実した教育を提供しなければならないという決意と責務の重さを痛感しています。

今後とも皆様方には、これまで以上のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

西吉野中学校学校運営協議会
会長 薄谷 勝

五條市立西吉野中学校の閉校に当たり、一言ご挨拶申し上げます。
本校の学校運営委員に任命されまして、学校行事や授業参観等で出席致しますと、生徒達はいつも笑顔で、大きなあいさつをしてくださいました。

全校生は、先生方と共に和気気藹々として、本当にアットホーム的で素晴らしいなあと感じておりました。生徒の皆さんは、3月31日を限りとして、三校が合併する五條中学校の生徒となります。どうか、これからも本校の校風を忘れることなく、自信と誇りを持って頑張ってください。

石川啄木の「ふる里の山に向かって言うことなし、ふる里の山はありがたきかな」と言う言葉があります。ふる里の山は、いつも生徒の皆さん達を温かく見守ってくれています。どうか、皆さん達もふる里の山に恥じることなく、人を愛し、ふる里を愛する人となって、大きく羽ばたいてください。

さて、本日まで本校生徒達を慈しみ、育てて下さいました諸先生方、本当にありがとうございました。先生方の熱意とご努力に敬意を表し、衷心より深く感謝申し上げます。

先生方からお受けしたご恩を、生徒達は決して忘れることなく、きっと立派に成長してくれることと信じております。

どうか諸先生方におかれましては、これからも、尚一層のご活躍を賜りますよう御祈り申し上げます。

後になりましたが、本校教育を日頃から支えて頂いております関係機関の大勢の方々に、心から感謝を申し上げますと共に、今後の益々のご健勝とご多幸を御祈り申し上げまして、誠に簡単ではございますが御礼の言葉とさせていただきます。



西吉野中学校学校評議員
初代校長 片山 邦彦

平成16年(2004年)4月1日、西吉野村立白銀北中学校・同西吉野中学校が統合して、新しく西吉野村立西吉野中学校が誕生しました。開校時は旧西吉野中学校の校舎を使用して発足しましたが、8月2日に近代的な設備の新校舎が竣工しました。9月1日には生徒も職員も皆笑顔で、夢と希望にあふれて、2学期の始業式をこの明るく良い香りのする新校舎で行いました。

私たちはこれまでも学校統合を経験していますが、その度に各校の伝統を受け継ぎ新しい伝統を創ってきました。新しい西吉野中学校が開校するに当たり、全校生87名と先生方が一丸となって、白銀北中学校と西吉野中学校それぞれの伝統を受け継ぎ、新しい学校の文化を創ることに力を注ぎました。

「活気」ある学校と西吉野特産の「柿」にちなんで、行事の名称に「カッキー〇〇」と名付けるのも生徒会で考えたものです。その内容についても話し合いを重ね、先生方の助言を得ながら実施し、多くの成果をあげました。

生徒達は、日々の教科学習・修学旅行や社会見学、また一泊の野外活動などで強い絆を結び、西中生としての自覚を強めました。開校時の生徒・職員みんなで西中の基礎を創り、後輩のみんなが肉付けをして、今のに西吉野中学校があると思います。皆さんの創った西吉野中学校の伝統と文化は消えることはありません。永遠です。

西吉野中学校に関わっていただいた保護者の皆様、村・市教育委員会、関係機関の皆様、地域の皆様ありがとうございました。

西吉野中学校、16年間ありがとうございました。



閉校記念式典実行委員会
委員長 新子 博之

この度、平成16年に開校された西吉野中学校が16年の歴史に幕が降ろされることになりました。ここに至るまでには、地元の皆様、卒業生の皆様には、いろいろな思いがあったことだと思われま。過疎化、少子化の流れで致し方ないことだと思われまが、残念で寂しい限りです。

少ない人数ならではのアットホームで暖かな環境の中、行き届いた教育、柿輝祭や体験学習による地場産業との関わり、地域にとけ込んだ素晴らしい幼小中合同体育大会でした。このような活動は、この地域ならではの学校だからこそできたことではないでしょうか。その思い出の学舎が役目を終え、今消えていこうとしています。

学校が、この地域からなくなるわけですが、これからの地域を担う子ども達は、まだまだこの地域には残っています。そうした子ども達のため五條中学校、野原中学校と統合して新しく「五條中学校」へと生まれ変わります。統合後も、西吉野中学校の伝統や精神を受け継ぎ、より良い環境のもと、子ども達に充分学んでもらえることだと信じております。

西吉野中学校閉校に伴い、記念誌を発行させていただき運びとなり、大変嬉しく思っております。今日まで西吉野中学校に関わってこられた全ての皆様に感謝致します。この素晴らしい学校を忘れることなく、誇りある故郷に胸を張り、新しい学校で活躍してくれることをお祈りし挨拶とさせていただきます。



校長 小林 良樹

五條市との合併の前年、平成16年に、豊かな自然、実り豊かなふるりの学舎で、未来と夢に向かって、大きく羽ばたくことのできる生徒を育てたい。という強い願いの中で、西吉野中学校が開校しました。

以来16年間、この中学校で学んだ全ての生徒は、「自ら考え、心豊かに生き生きと活動する生徒の育成～豊かな出会い、ふれ合いを通して～」を研究テーマとして、「カッキータイム」を中心に柿の剪定、摘蕾、収穫、販売、市場・選果場体験・柿の葉寿司・梅干し・柿渋染め・生け花教室・西吉野、大塔音頭・和太鼓・お話の配達などの多くの体験をととし、保護者・地域・関係機関等多くの皆様方とふれ合い、ご支援を頂ながら、歴代の校長先生をはじめ諸先生方と共に活動を行って参りました。

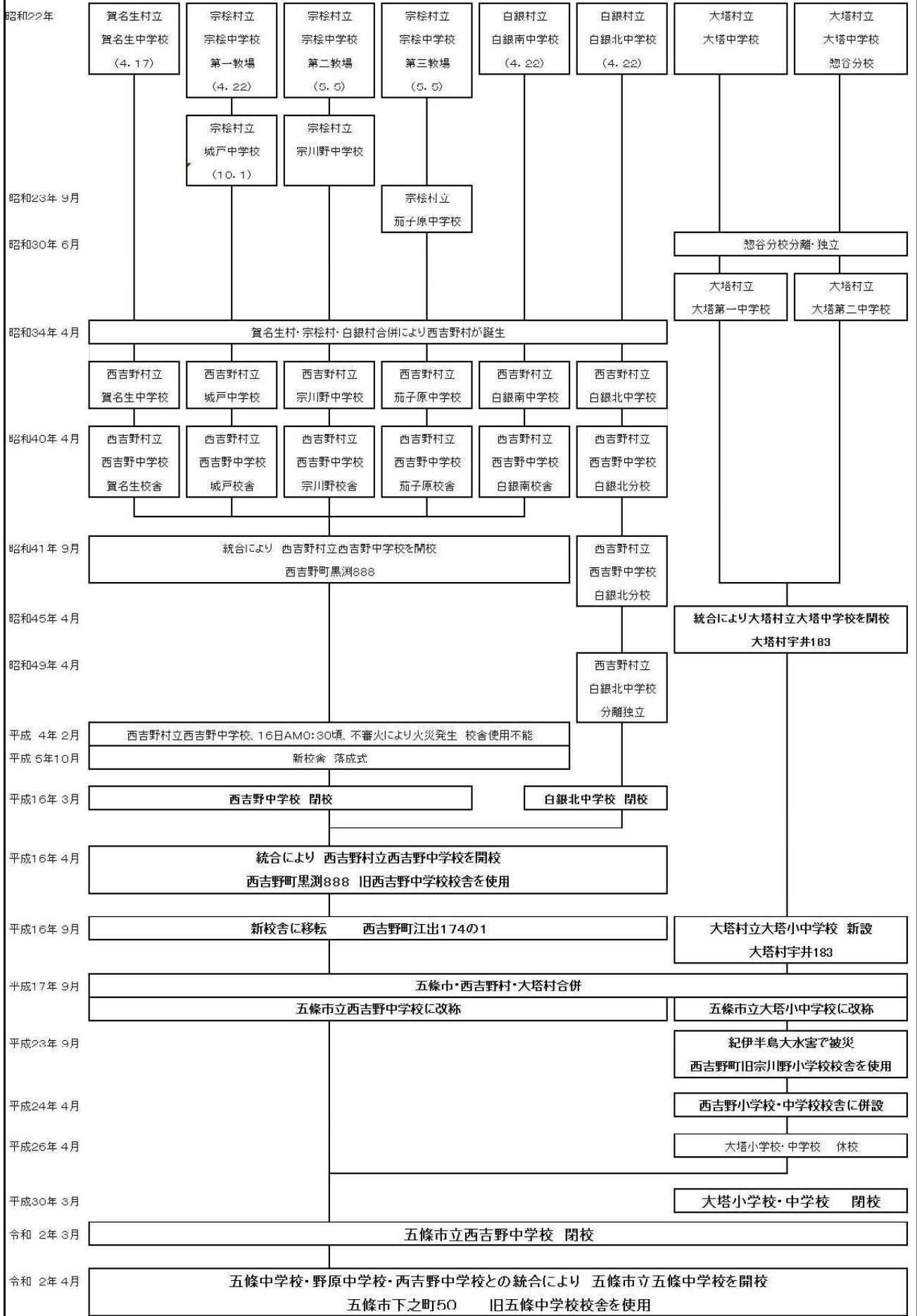
本校で学んだ生徒は、この西吉野中学校でしか経験できない多くの活動を通して、地域を愛し誇りに思い、地域や社会に貢献できる生徒に成長してくれたと確信します。これも一重に生徒を温かく見守って頂いた多くの皆様方の深いご理解と、沢山のご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

地域の中学校として西吉野幼稚園・小学校との交流を重ねながらの16年間、最後の合同体育大会では、幼・小・中学生全員で西吉野、大塔音頭を踊り、また柿輝祭では、合同体育大会で中学生が踊った西中ソーランを見た園児が踊りを覚え中学生と共に踊るという非常に微笑ましい場面がありました。園児や小学生が中学生の背中を見て憧れ、中学生もその期待に応え模範となって成長していく姿は、同じ場所で共に同じ体験が出来たからこそだと思えます。

地域の皆様方に育てられ、この学舎で過ごした全ての生徒は、未来と夢に向かって大輪の花を咲かせてくれると信じています。西吉野中学校が心の故郷として皆様の心の中でいつまでも生き続けられることを願い、本校が培ってきたよき伝統や校風が、統合校に引き継がれ尚一層発展されることをお祈りいたします。

最後に、閉校に当たり今日までご尽力賜りました五條市教育委員会の皆様、閉校記念誌に投稿していただきました皆様、そして何よりも保護者及び地域の皆様には言葉では尽くせないごご支援・ご協力を賜りました。謹んでお礼申し上げます。

五條市立西吉野中学校の変遷



西吉野中学校沿革誌

平成 16年度 2004年	4月	西吉野村立西吉野中学校開校（西吉野町黒淵888） 初代校長片山邦彦着任 第1回 入学式（男子17名・女子10名 計27名）
	5月	カッキータイム 柿の摘蕾
	6月	3年生 修学旅行（北海道 札幌・富良野方面） 2年生 社会見学（大阪方面）
	7月	カッキークラブ交流会おはなしの配達
	8月	1年生 野外活動（和歌山 堺市立日高少年自然の家） 西吉野中学校竣工式（22日）
		
9月	創立記念日（1日） 第2学期 始業式 新校舎使用開始 （西吉野町江出174-1） 秋季体育大会	
10月	柿輝祭 カッキータイム 柿の脱渋	
11月	1年生 柿選果場体験学習 2年生 職場体験学習 西吉野柿の里祭り参加 柿の販売（奈良県果樹振興センター） カッキータイム 柿の収穫と選果 カッキータイム柿の収穫・選果・選果場体験の様子をNHKで放映	
12月	3年生総合的な学習発表会 2年生職場体験学習発表会 1年生総合的な学習発表会 校内マラソン大会 校内人権作文発表会 カッキークラブ交流会おはなしの配達	
1月	百人一首大会 五條市駅伝大会参加	
2月	新入生説明会一日体験入学 カッキータイム 花木についての講演会	
3月	カッキークラブ交流会おはなしの配達 3年生を送る会 第1回 卒業証書授与式（男子14名・女子15名 計29名）	

平成 17年度 2005年	4月	第2代校長尾田義美着任 第2回 入学式 (男子12名・女子16名 計28名)	
	6月	カッキータイム 1年生柿の葉寿司づくり	
	6月	3年生 修学旅行(沖縄方面)	
	7月	カッキータイム 2年生梅干しづくり	
	11月	奈良県中学校教科等研究会保健体育研究大会	
	1月	子どもファーム活動コンクール(東京) ネット奨励賞受賞	
	2月	カッキータイム 2年生柿の剪定	
	3月	第2回 卒業証書授与式(男子15名・女子17名 計32名)	
平成 18年度 2006年	4月	第3代校長元谷隆志着任 第3回 入学式 (男子11名・女子18名 計29名)	
	11月	カッキータイム 3年生柿の創作料理	
	3月	第3回 卒業証書授与式(男子16名・女子10名 計26名)	
平成 19年度 2007年	4月	第4回 入学式 (男子11名・女子12名 計23名)	
	11月	市中小音楽会	
	1月	食についての講演会	
	3月	第4回 卒業証書授与式(男子13名・女子16名 計29名)	
平成 20年度 2008年	4月	第4代校長大谷好吏着任 第5回 入学式 (男子11名・女子12名 計23名)	
	10月	市場体験(大阪) カッキータイム 柿漬作品作り	
	11月	柿の販売実習 大阪箕面市	
	12月	家の光オープンフォーラム in 奈良	
	1月	全国子どもファームネット交流会(東京)	
平成 21年度 2009年	3月	第5回 卒業証書授与式(男子10名・女子17名 計27名)	
	4月	第6回 入学式 (男子11名・女子7名 計18名)	
	1月	教育ファーム推進全国大会(東京)	
	2月	子どもファーム活動コンクール ネット大賞受賞	
平成 22年度 2010年	3月	第6回 卒業証書授与式(男子10名・女子17名 計27名)	
	4月	第7回 入学式 (男子11名・女子7名 計18名)	
	6月	生徒会クリーンアップ活動	
	7月	ゆかた着付け教室	
	11月	五條市教育委員会指定研究発表会	
平成 23年度 2011年	3月	第7回 卒業証書授与式(男子10名・女子17名 計27名)	
	4月	第5代校長栗山 浩着任 第8回 入学式 (男子11名・女子7名 計18名)	
	9月	紀伊半島大水害	
	11月	五條市教育委員会指定研究発表会	
平成 24年度 2012年	3月	第8回 卒業証書授与式(男子10名・女子6名 計16名)	
	4月	五條市立大塔中学校併設 第9回 入学式 (男子8名・女子5名 計13名)	
	3月	カッキータイム 生け花教室 第9回 卒業証書授与式(男子10名・女子13名 計23名)	
平成 25年度 2013年	4月	第10回 入学式 (男子12名・女子7名 計19名)	
	3月	第10回 卒業証書授与式(男子5名・女子9名 計14名)	
平成 26年度 2014年	4月	第11回 入学式 (男子4名・女子10名 計14名)	
	3月	第11回 卒業証書授与式(男子8名・女子5名 計13名)	
平成 27年度 2015年	4月	第6代校長吉川哲央着任 第12回 入学式 (男子8名・女子5名 計13名)	
	8月	近畿中学校総合体育大会 卓球個人の部出場	
	12月	全国都道府県対抗中学バレーボール大会出場(大阪)	
	1月	カッキータイム 着付け・お琴教室	
	3月	第12回 卒業証書授与式(男子12名・女子7名 計19名)	
平成 28年度 2016年	4月	第7代校長西尾 彰着任 第13回 入学式 (男子5名・女子5名 計10名)	
	8月	近畿中学校総合体育大会 卓球個人の部出場	
	11月	五條市中小音楽会	
	3月	第13回 卒業証書授与式(男子8名・女子5名 計13名)	
平成 29年度 2017年	4月	第8代校長小林良樹着任 第14回 入学式 (男子4名・女子5名 計9名)	
	9月	第1回幼小中合同体育大会	
	12月	大塔町被災地学習会	
	1月	五條市教育委員会指定研究発表会	
	3月	第14回 卒業証書授与式(男子8名・女子5名 計13名)	

平成 30年度 2018年	4月	第15回 入学式 (男子0名・女子4名 計4名)
	6月	五條市学校適正化基本計画策定(平成32年4月より五條中学校・野原中学校との統合)
	10月	第1回学校統合協議会
	11月	高齢者総合福祉施設はるす・西吉野へ車椅子寄贈(ベルマーク) 市小中音楽会 和太鼓演奏 西吉野柿の里祭り参加 柿の販売(JA奈良県西吉野柿選果場)
	2月	西吉野ふれあい文化祭 和太鼓演奏
令和 元年度 2019年	3月	第15回 卒業証書授与式(男子5名・女子4名 計9名)
	4月	第16回 入学式 (男子5名・女子6名 計11名)
	5月	1年生野外活動(五條・野原・西吉野中学校合同) 2年生吉野川ラフティング体験(五條・野原・西吉野中学校合同)
	9月	第3回幼小中合同体育大会(幼小中全員で西吉野・大塔音頭)
	10月	三中合同音楽鑑賞会
	12月	奈良県農協西吉野柿統合選果場へ台車3台寄贈(ベルマーク)
	1月	三中合同職場体験学習
	3月	第16回 卒業証書授与式(男子4名・女子5名 計9名) 西吉野中学校閉校記念式典(3月22日) 西吉野中学校閉校(3月31日)



学校教育目標

- 平成16年度 あたりまえのことがきちんとできる生徒を育成する
- 平成17年度 能力や特性を活かして、主体的に活動し、社会で信頼される生徒を育成する
- 平成18年度 あたりまえのことをあたりまえにできる生徒の育成
- 平成19年度～ たくましく、たのもしい生徒の育成
- 平成30年度～ 豊かな心を育み、自ら学び、やり抜く生徒の育成

学級担任と生徒数

	1年生			2年生			3年生			特別支援	総計					
	男	女	計	担 任	男	女	計	担 任	男	女	計	担 任	男	女	計	
H16	17	10	27	鶴田幸子	15	17	32	佃 俊隆	14	14	28	平 善之		46	41	87
H17	12	16	28	佃 俊隆	16	10	26	下井弓子	15	17	32	久保一弥		43	43	86
H18	11	18	29	平 善之	12	16	28	竹原 彩	16	10	26	下井弓子	林三輪子	39	44	83
H19	11	12	23	下井弓子	10	18	28	水口時久	13	16	29	佃 俊隆	林三輪子	34	46	80
H20	17	16	33	上西章子	11	12	23	下井弓子	10	18	28	平 善之	林三輪子	38	46	84
H21	11	7	18	下井弓子	17	17	34	西尾孔延	11	12	23	平 善之	林三輪子	39	36	75
H22	10	13	23	林三輪子	10	7	17	下井弓子	17	17	34	上西章子 桑田茂春		37	37	74
H23	5	8	13	上西章子	10	13	23	平 善之	10	6	16	下井弓子		25	27	52
H24	8	5	13	下井弓子	5	8	13	上西章子	10	13	23	平 善之		23	26	49
H25	12	7	19	久保一弥	8	5	13	上垣 仁	5	9	14	上西章子	林三輪子 下井弓子	25	21	46
H26	4	10	14	山下浩範	12	7	19	桑田茂春	8	5	13	上垣 仁	上西章子	24	22	46
H27	8	5	13	大西綾子	4	10	14	東浦 大	12	7	19	桑田茂春	上西章子 松本 勉	24	22	46
H28	5	5	10	林 大樹	8	5	13	大西綾子	4	10	14	桑田茂春	上西章子 川田 愛美	16	21	37
H29	4	5	9	川田愛美	5	4	9	林 大樹	8	5	13	大西綾子	上西章子 東浦 大	17	14	31
H30	0	4	4	中内光亮	4	5	9	川田愛美	5	4	9	林 大樹	新子真依子	9	13	22
R元	5	6	11	林 大樹	0	4	4	中内光亮	4	5	9	川田愛美	窪田 益代 吉岡 貴恵	9	15	24

お世話になった皆様



柿実習園



梅干し・柿の葉すし



柿の葉すし



柿栽培



柿栽培



柿栽培



お話の配達・柿渋染め・生け花 カッキークラブ交流会



西吉野音頭

高齢者施設に車椅子寄贈

再来年3月開校 西吉野中生

「地域の人の役に」

西吉野中は旧西吉野 設校の統合が決まっ
村時代の平成16年、西 設校の統合が決まっ
高野と白根北の2校が 密着は、開校を前に
統合して生徒が通って 文化祭の招待や学校
は好みの少子化が通 活動を通じて交流があ
り、開校後には新 野
西吉野中と旧西吉野 設校の統合が決まっ
村時代の平成16年、西 設校の統合が決まっ
高野と白根北の2校が 密着は、開校を前に
統合して生徒が通って 文化祭の招待や学校
は好みの少子化が通 活動を通じて交流があ
り、開校後には新 野

再来年の3月に開校する五條市西吉野中学校(小林良樹校長、22人の生徒会メンバー)が、14日、五條市西吉野町城戸の高齢者総合福祉施設「はるす・高野野」を訪れ、同施設に車椅子を寄贈した。贈呈式には、小林校長、生徒会メンバー、施設職員ら約100人が参加した。贈呈式では、小林校長が「地域の人の役に」という思いを込めて、車椅子を寄贈した。小林校長は「地域の人の役に」という思いを込めて、車椅子を寄贈した。



大塔音頭



和太鼓

各学年のページは、個人情報保護の関係で、割愛させていただきます

卒業生より

当時の生徒会活動を思い返してみると、最初は本当に何もかもゼロからのスタートでした。しかし、2つの中学校の生徒会をあわせた新しいメンバーで力を合わせて乗り越えてきました。特に、柿の故郷で活気あふれた文化祭にしようとなづけた『柿輝祭』。少ない人数のときでは出来なかった盛り上がりを見せ、この同級生で一つのイベントを成功できたことに誇りを感じることが出来ました。

平成16年度 生徒会長

私たちの学年も、2つの中学校が統合し、仲間が増えて校舎が新しくなりました。寂しさもありましたが、毎日が新鮮でとても楽しかったことを覚えています。閉校は終わりであり、始まりでもあります。1、2年生の方々は、新たな校舎で、これまでの仲間、これからの仲間と共に、今しかできないことを精一杯楽しんで、充実した中学生生活をおくってくださいね。

平成17年度 生徒会長

この度西吉野中学校閉校になった事とても寂しい気持ちでいっぱいです。私たちが入学したタイミングで統合し2学期から新校舎へと移りこの校舎で3年間過ごしました。生徒会長もご縁がありさせて頂いたことで学べた事もたくさんあります。大好きな友達との最高の思い出が詰まったこの西吉野中学校が大好きでした。そして大好きだった先生との永遠の別れも経験しました。思い出は語り尽くせませんが、このへんでありがとうございます。

平成18年度 生徒会長

秋になると一面が橙色に色付く、自然豊かな環境で過ごした中学校生活、全校生で年間を通して柿栽培を行ったカッキータイム、体育大会でクラスが一致団結した20人21脚、人数が少ないからこそ、友達一人ひとりの大切な思い出がたくさん出来ました。生徒会長という責任のある役割をさせて頂き、様々な行事を友達や先生方と協力し、楽しく生徒会活動を行うことが出来ました。友達と過ごした、かけがえのない3年間、素晴らし出会いを与えてくれた西吉野中学校に、ここから「ありがとう」。

平成19年度 生徒会長

母校の閉校、非常に切なく胸が締め付けられます。西中で過ごした3年間は、とても尊い時間です。仲間と共に学び、笑い合ったこと、先生方に支えられ、励まされ、ときに叱られたこと、全てが色鮮やかに思い出されます。

西中で過ごせたからこそ、中学校の先生になりたいという夢を持ち、叶えることができました。母校で教壇に立ちたいというもう一つの夢は叶えることができませんが、西中で過ごした3年間の思い出と誇りを胸に、前を向いて歩んでいこうと思います。

平成23年度 生徒会長

中学校での生活は、私の中で一番思い出深い時期であり、中でも生徒会長という責任のある役割をさせて頂いたこと、生徒会のみんなや先生方と、放課後に話し合いをしたり、活動の計画を立てたりしたことがとても楽しかったです。閉校になるということで、寂しい気持ちがありますが、支えてくださった先生方や、一緒に過ごした友達との思い出を、これからも大切にしていきたいと思っています。

平成24年度 生徒会長

西吉野中学校での三年間は、良い友達や先生方に出会えて充実した生活を送ることができました。楽しい時は一緒に大いに楽しみ、嫌な事から逃げそうになった時には先生から諭され、進むべき方向へ導いてくれました。そして「自分の未来の為に今すべき事を頑張れ！」と教えて頂きました。これはずっと心に残っており、中学時代の教えがあったからこそ今の自分があると思っています。お世話になった皆様ありがとうございました。

平成25年度 生徒会長

この学校で先生方や同級生と過ごした3年間は今でも大切な思い出です。

平成26年度 卒業生

「母校が閉校になる」いつかはこのような言葉を聞く事にはなるだろうと思っていましたが、それが現実になってしまいました。僕が生徒会長をやっていた時は、全校生徒36人という小規模でしたが、体育の合同授業や体育大会の幼稚園、小学校、中学校の合同など、みんなで力を合わせて学校運営に取り組んで来ました。高校へと進学をした卒業生なら、人の多さに圧倒したのではないのでしょうか。「300人越えの生徒」や、卒業式の時には全く知らない人までいることは僕にはとても不思議に感じました。そのぐらい中学校はアットホームで、生徒一人一人や先生、全員が家族の様に接していました。ここで経験した日々は忘れることの無い、大切な宝物です。様々なイベントを初め、この西吉野中学校を支えてくださったPTAの方々、暖かく生徒を見守ってくださった地域の方々、いつも一人一人にご指導くださった先生方に心より感謝申し上げます。

平成27年度 生徒会長

僕はこの学校で、生徒会長と卓球部キャプテンの両方に就任させて頂き、なかなかすることの出来ない貴重な経験をたくさんさせて頂きました。また、僕たちに勉強を始めた皆さんのことを本当に温かく教えて下さった先生方や、共に学校生活を過ごした友達のおかげで、笑い転げるくらい楽しく、充実した毎日を送らせて頂きました。この学校が閉校になってしまうのは寂しいですが、この学校で過ごしたかけがえのない日々は変わりません。僕たちを成長させてくれた西吉野中及び、関わって頂いた全ての方々。改めて、本当にありがとうございました。

平成28年度 生徒会長

全校生徒31名と少ない人数の中、個性豊かな生徒が元気よく過ごしました。行事では、球技大会や幼小中合同体育大会などが印象的です。中でも幼小中合同体育大会はこの年に初めて行われました。全員で協力し合いやり遂げました。また、部活動では野球部が廃部になりました。西吉野中学校では様々な事を学び、自然や多くの人とふれあう事が出来ました。ここで学んだ事を将来に生かしていき、卒業生だということを誇りに思います。

平成29年度 生徒会長

本校で学んだ事は沢山ありますが、僕が本校で一番強く感じたのは、「地域の方々に愛された学校」ということです。また西吉野中学もとても地域愛が強い学校だったと思います。合同体育大会や、柿輝祭、特産品の柿の販売などで多くの方々にお世話になりました。地域の方々に愛された母校がなくなるのは寂しいですが、これからも本校の卒業生として色々な事に取り組んで行こうと思いました。西吉野中学に関わって頂いたの方々、ありがとうございました。

平成30年度 生徒会長

友達が共に成長してきた場所が無くなってしまふ事は、とても残念ですがこの学校で得た経験や体験を忘れる事なく活かしていきたいと思っています。

平成30年度 卒業生

この短いと思えた学校生活は自分にとって自分の在り方を知った最高の道でした！

平成30年度 卒業生

令和元年度 在校生より

3年生

- 1 職員室
- 2 まわりが自然豊かなこと
- 3 修学旅行で沖縄へ行ったこと
- 4 中学校はなくなるけど、賀名生分校校舎として頑張ってくれたい

- 1 職員室
- 2 柿の栽培や販売をしているところ
- 3 体育大会で放送をしたこと
- 4 3年間お世話になりました

- 1 たくさん本を読んだ図書室
- 2 柿の栽培をしているところ
- 3 柿輝祭で劇をしたこと
- 4 今まで、ありがとう

- 1 職員室
- 2 生徒同士、先生と生徒の距離が近く過ごしやすい
- 3 毎日友達と過ごした日々
- 4 3年間お世話になりました

- 1 頑張ったテニスコート
- 2 設備が充実していてすごしやすい♥
- 3 柿輝祭でオープニングをしたこと
- 4 私たちの3年間を支えてくれて、ありがとう♥

- 1 体育館
- 2 景色が良いところ
- 3 マラソン大会
- 4 だいすきだよ

- 1 玄関
- 2 校舎の屋根がオレンジなところが、かわいい
- 3 テニスを一生懸命頑張ったこと
- 4 楽しい思い出をありがとう！

- 1 畑
- 2 緑豊かな環境
- 3 体育大会の綱引きでみんなで協力して優勝したこと
- 4 16年間本当にありがとうございました

- 1 ふかふかベッドのある保健室
- 2 校舎がきれいなところ
- 3 柿輝祭で金賞をとったこと
- 4 ありがとうございます

- 1 思い出の場所
- 2 学校の良いところ
- 3 中学校の思い出
- 4 学校へのメッセージ

2年生

☆西吉野中学校の良い所
みんな仲が良い所
☆西吉野中学校の好きな場所
保健室
☆西吉野中学校の思い出
保健室でちょっと授業を！？（笑）
☆西吉野中学校へのメッセージ
ありがとう！
☆将来の夢
安定した暮らし
☆好きな言葉
「恋」って言うから「愛」に来た

☆西吉野中学校の良い所
みんな仲よし
☆西吉野中学校の好きな場所
保健室
☆西吉野中学校の思い出
授業に呼びに行かないで先生に怒られたこと
☆西吉野中学校へのメッセージ
バイバイ！
☆将来の夢
コスプレヤー
☆好きな言葉
今日という日は残りの人生の最初の日

☆西吉野中学校の良い所
生徒が少ないので、疲れない
☆西吉野中学校の好きな場所
教室、保健室
☆西吉野中学校の思い出
たこ焼きなど、クラスのみんなど楽しく食べたこと
☆西吉野中学校へのメッセージ
ありがとう！
☆将来の夢
ライブに行きまくって、優雅な生活をする
こと
☆好きな言葉
嫉妬するより、嫉妬される人であれ！

☆西吉野中学校の良い所
きれい
☆西吉野中学校の好きな場所
多目的ホール
☆西吉野中学校の思い出
毎日、にぎやかだった
☆西吉野中学校へのメッセージ
2年間だけだったけど、お世話になりました
☆将来の夢
声優、アニメ
☆好きな言葉
好きなものには嘘はつくな！

1年生

卓球で、はじめは試合とかで負けたけど、今は勝てるようになってきて楽しくなってきました。

部活で最初は挨拶の声小さかったけど、今では大きな声で挨拶ができるようになりました。

中学生になって、本を並べるのが得意になり、整理整頓が上部になったことです。

部活で色々なことを先輩に教えていただき卓球が上手くなったことです。

自分が成長できた事派は、英語がちょっと分かるようになった事と、学校を休まずに来られるようになった事です。

人数が少なかったからこそその団結力が深まったと思います。

友達と考え方の違いで衝突したけど、そのおかげで、自分の意思を伝える大切さを知りました。

先輩方や先生のおかげで、試合に勝つ喜びやまけた時の悔しさを体験することができました。

委員会などで、最後まで責任を持ってやりきる事ができるようになったと思います。

はじめは、「勉強いや」って思っていたけど、最近「勉強が楽しい」と思えるようになりました。

中学校の勉強は、難しかったけれど小学校の時と違って諦めず頑張ることができました。

先生方より

ふるさとへの思いをいつも感じた西吉野中学校、そんな学校で過ごせた4年間。あつたかさに溢れたたくさんの出会いがありました。すべてに厚い心がありました。母校を巣立って行ったそれからは、西吉野中学校で培った1つ1つに誇りを持って、それぞれの道を歩んでいって下さい。今までも、これからも、そして今この時も西吉野中学校でのすべての時間に感謝で一杯です。

教頭 堀本 知子

人は一人では生きていけません。人に感謝する気持ちが大切だし、色んなものや人に出会えば心が動きます。そして人と何かを共有することは感動につながります。この西吉野で、まず人の暖かさを感じました。生徒の心の美しさに感動しました。先生方も穏やかな方が多く、この職場は私にとって学びの場でした。「感謝・感激・感動」の1年でした。

森本 絵里加

西吉野中学校に来て5年の月日が経ちました。とてもきれいな校舎で、思い出はたくさんありますが、特に思い出に残っているのは、とても広い体育館です。雨の日でも練習することができ、充実した部活動を行うことができました。ありがとう西吉野中学校！

東浦 大

他にもあるだろうか。周囲の果樹園への影響を考慮して駐車場の街灯をつけない。体育館の明かりが漏れないように日没後に体育館の暗幕をひく学校。勤務させていただいた記念に驚いたことを一つ、ここに記しておく。

窪田 益代

この西吉野中学校で、自然の尊さや農業の大切さなどたくさんのことを学びました。素直で優しい生徒や、あたたかく見守ってくださった保護者の方々、ご指導いただいた先生方と共に過ごした日々は自分の財産です。ありがとうございました。

川田 愛美

祖父母、親戚の故郷で、一時代としての節目に立ち会えたことを、とても誇りに思います。私の願いは、地域を盛り上げてくれる子どもを育てること。その毎日と一緒に過ごせたことにとっても感謝しています。ありがとうございました。

中内 光亮



I'm happy I was here for 西吉野中学校 's final year. To the students and staff, you're all amazing!

Ashely Mitchell

この1年、時間としては短かったかもしれませんが、この西吉野中学校での出会いや経験は人生の大きな宝物になりました。「ここで今の自分にできることを精一杯やろう。」そう思わせてくれた生徒達や先生方、保護者の皆様にはとても感謝しています。生徒達の笑顔を見るたびに幸せな気持ちになりました。本当にありがとうございました。

山本 芽衣

漫才師、横山やすしさんの名言、「大変」っていうのは「大」きく「変」わる。大きく変わるキッカケをもらってんねん。感謝せえよ。」閉校にあたり大変だなと感じた時、この言葉に出会いました。「大変なことを乗り越えれば、西吉野が大きく変わるのかな。いい方に」と前向きに考えることができました。「大変な時も笑って元気に共に生きていきましょう！」

片山 和美

山肌を梅が紅と白に染める春の景色、秋の柿の実り、鳥のさえずり、自然豊かな西吉野で優しく素直な子どもたちの成長・笑顔に触れ、気持ちよく楽しく仕事が出来たのも皆さんのおかげと感謝しています。ありがとうございました。

武田万左代

優しい生徒達、それを支えていただいた保護者や地域の皆様、自分は教師生活を西吉野中学校で終えることができ、ほんとうに感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。西吉野の地がいつまでも栄えることを祈っています。

梶本 実次

この地域のあたたかい雰囲気そのままに、学校のなかもアットホームで、人と人が思いやりで繋がっていました。こんな素晴らしい環境で、子どもたちと向き合う時間を頂き感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

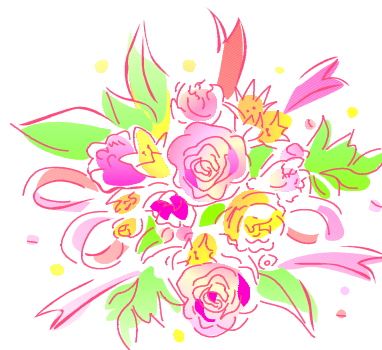
林 大樹

私にとっての思い出は、心一つにした和太鼓の演奏です。格好良かったです。西吉野で大切に育てられた子どもたちと出会えたこと、保護者の皆様、地域の皆様に支えられ、助けていただいたこと、本当に温かさを感じた一年間でした。感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

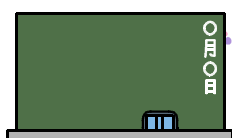
吉岡 貴恵

社会に出て40年余りとなりますが、西吉野中学校閉校の年にたった5ヶ月と言いう短時間でございましたが、臨時業務員として勤めさせて頂いた事感謝の気持ちで一杯です。自分に自信をもちたくましく生きて下さい。

平岡 久明



編集後記



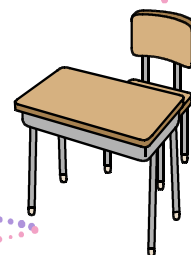
西吉野中学校閉校記念誌発行に当たり、五條市長様・教育長様・卒業生並びに関係各位のみな様方から心温まるご寄稿等を賜り、ここに無事刊行することができました。心より厚く御礼申し上げます。

令和2年年3月をもって西吉野中学校は16年という短い歴史に幕を下ろすことになりました。この閉校にあたり、記念誌を作成することとなり、卒業アルバムや学校の残されている写真等を整理する中、普段の学校生活や行事等で、生徒達の笑顔があふれ自信に満ち生き生きとした表情が随所に見られました。西吉野中学校への思いに触れ「本当に閉校してしまうんだな…」と学校が無くなる寂しさを感じました。

閉校記念誌は、「大輪の花」新生西吉野中学校が誕生したときに、校章には、未来と夢に向かって、広い空へ、強く・大きく羽ばたく羽のイメージ、校歌の一節に「明るい未来 築くため 花を咲かそう 大輪の…」とあり、実り豊かな西吉野の地で16年間、地域の皆様方に育てて頂いた、西吉野中学校の歴史と伝統が忘れられぬよう語り継がれることを願っています。

終わりになりますが、お忙しい中、原稿・執筆にご協力くださった皆様、編集作業に携わった実行委員や教職員のみなさまに感謝申し上げます。

閉校記念式典実行委員会





開校 平成 16 年 4 月 1 日
閉校 令和 2 年 3 月 31 日